TOPICS

知床100平方メートル運動が33年で土地取得完了

北海道・斜里町が最後の原野を取得しました

1977 年、斜里町が知床国立公園内の開拓跡地を乱開発から守るために開始した 100 平方メートル運動。「しれとこで夢を買いませんか」をキャッチフレーズに、100 平方メートル 8,000 円で寄付を募ったところ、運動開始から 20 年で寄付者は 4 万人を超え、目標額の約 5 億 2 千万円を達成。対象地内の土地取得は、2001 年時点であと 1 ヵ所を残すのみとなっていました。

その最後の原野 11.92ha がついに、地権者から斜里町に売却されることになり、11 月 9 日に正式な契約が結ばれました。日本のナショナル・トラスト活動の先駆けとなった知床の運動は、33 年かけて、対象地を 100% 取得することに成功しました。

斜里町　村田均 町長

運動は 33 年をかけて大きな節目を迎えることができました。「土地取得完了」は地権者の理解、運動参加者の支援、そして議会議員や町民の皆様による支えの賜です。

斜里町は歴代の町長が先頭に立って運動を守り育ててきましたが、これからも森づくりをとおして「自然を復元する」という 100 年後の大きな夢の実現に向けて取り組む覚悟です。

引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

公益財団法人

天神崎の自然を大切にする会

6年ぶりに土地を取得

南紀・白浜の対岸にある、森・磯・海が一体となって豊かな生態系を築いている美しい天神岬を、未来の子どもたちに残していきたい・・・

36 年前、この岬での別荘地開発の計画を知った外山八郎さんをはじめ住民有志の想いから始まったナショナル・トラスト活動（和歌山県田辺市）は、1976 年より、全国からの寄付金をもとにトラスト地を取得し続けてきましたが、この度、6 年ぶりに新たな土地を取得しました。

18 回目となる取得の対象地は、県立自然公園に指定されている 2,800 ㎡の海岸林で、土地購入のための「心の地主寄附金」の一部、470 万円を充てて買い取りました。会としては、2010 年 3 月に県内初の公益財団法人に認定されており、今回は、認定法人になって初めての土地取得です。これで、天神崎の保全面積は 76,000 ㎡となりました。

11 月 13 日に新たに加わった保全地

ナショナル・トラスト

編集/発行　社団法人日本ナショナル・トラスト協会
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20　音羽ビル
TEL. 03-5979-8031 FAX. 03-5979-8032　http://www.ntrust.or.jp/
Copyright©2011 The Association of National Trusts in Japan All Rights Reserved

ニュースレター
2011年
冬号

新年あけましておめでとうございます

昨年、名古屋で開催された COP10 では、生き物の多様性を守るために保護区を増やす国際的な目標が定められました。また、多くの人が豊かな自然と、それを礎に築かれた歴史や文化の大切さを改めて認識する機会でもありました。今回の COP10 をきっかけに、貴重な自然や歴史文化の残る環境を買い取り、守っていくナショナル・トラスト活動への理解が深まったように感じます。

当協会においては、今年は特に、貴重な自然地を買い取るプロジェクトやナショナル・トラスト活動を全国の皆様に知ってもらう普及啓発など、新しい試みにチャレンジしていく所存です。

本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

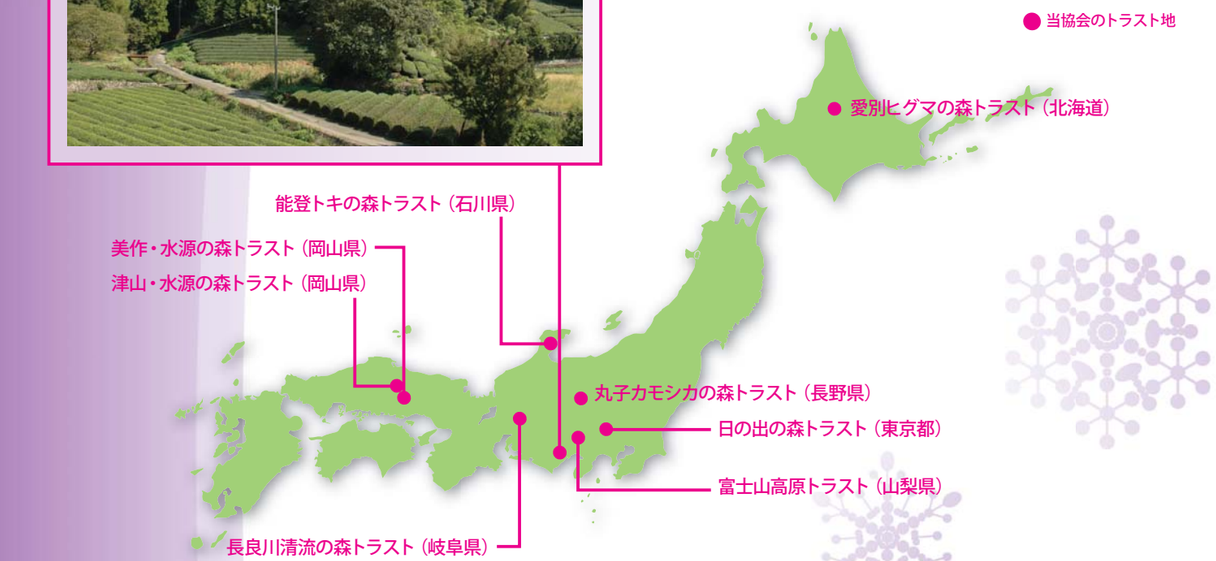
写真：英国ナショナル・トラストの所有地として守られている湖水地方の朝焼け

NEWS

「瀬戸川の森トラスト」の取得

瀬戸川の森トラスト（静岡県・藤枝市）

お茶の産地・静岡ならではの茶畑が広がるのどかな里山の風景。その後方に広がる約 2ha の森が今回取得した「瀬戸川の森トラスト」です。藤枝市を南流し駿河湾へと注ぐ瀬戸川の流域にあたるこの森は、東京都にお住まいの個人の方が、ナショナル・トラストの活動に賛同し、「日本の自然を守ることにつながるのであれば」という想いから寄付をしてくださいました。



今回の取得で、当協会が保全するトラスト地は 10 箇所となりました。最近は、COP10 の開催もあり、ナショナル・トラストの手法による環境の保全に関心が高まり、土地の寄贈・遺贈や活動に関する問い合わせも増えています。COP10 で採択された、「愛知ターゲット」では、2020 年までに、陸域の 17%・海域の 10% を保護区域とするという具体的な数値目標も示されました。当協会も、この目標を念頭に積極的にトラスト地の拡大を進めていきたいと思います。

第 6 期ナショナル・トラスト活動助成の助成先が決定しました

全国でトラスト活動を進める団体や、これから立ち上げようとしている団体へ、土地の購入や維持管理のための費用を最大 5 年間・800 万円助成する「ナショナル・トラスト活動助成」の第 6 期助成先が決定しました。この助成事業は、(財)自然保護助成基金との共催により実施しています。
今回は 5 団体が助成先として承認されました。

NPO 法人ツシマヤマネコを守る会
（長崎県・対馬市）

(財)阿蘇グリーンストック
（熊本県・阿蘇市）

NPO 法人阿蘇花野協会
（熊本県・熊本市）

(社)生態系トラスト協会
（高知県・高知市）

認定 NPO 法人霧多布湿原トラスト
（北海道・浜中町）

INFORMATION

活動報告

第 28 回ナショナル・トラスト全国大会のお知らせ

今年度の全国大会について概要が決定しましたのでお知らせします。
年度末の大変あわただしい時期ですが、年に 1 度のこの大会へ、
ぜひ皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。

- 日時：2011 年 3 月 6 日（日） 14：00 ～ 19：00
- 会場：主婦会館プラザエフ（東京都千代田区六番町 15）
- 対象：全国で活動しているトラスト団体のメンバーやナショナル・トラストに関心のある方などどなたでも
- プログラム：14：00 開会
  特別講演（60 分間）日本熊森協会 会長 森山まり子氏
  活動報告（各 20 分間） (公財)柿田川みどりのトラスト
  はちのへ小さな浜の会
  (財)日本生態系協会
  17：00 交流会（2 時間）

第 27 回大会の様子

フェラーリ・ジャパンによるチャリティーが開催されました

イタリアの高級自動車メーカー・フェラーリが 2008 年に発表したスポーツカー「フェラーリ・カルフォルニア」のスペシャル・イベントが、全国 6 ヶ所で開催され、当協会への寄付を募るチャリティーも実施されました。
イベントのテーマは、フェラーリ・カリフォルニアの車窓に流れる美しい日本の風景。会場では、写真家・三好和義氏がこの車に乗って撮影した国内各地の美しい風景が紹介され、これらを守っていくナショナル・トラスト活動を応援するという趣旨でチャリティーが実施されました。イベント参加者から寄せられたご寄付は、日本の美しい風景を守るトラスト活動の推進のため大切に使わせていただきます。

エコプロダクツ展でナショナル・トラストをPR

生物多様性の保全のために金融機関としてできる取り組みを積極的に進めている住友信託銀行が、12 月 9 日～ 11 日までの 3 日間、東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ 2010」にブース出展し、その取り組みを PR しました。展示では、住友信託銀行が 7 月より実施している「ナショナル・トラスト活動応援企画」についても紹介され、人々の注目を集めていました。

希少種のツシマヤマネコやアマミノクロウサギを守るには、そのすみかとなる土地を買って守ることが重要であることを訴えました。

2011年度の税制改正に向け要望書を提出しました

2011 年度の税制改正に向けた要望書を、環境大臣と民主党の環境部門会議に提出しました。要望書では、土地の寄贈者に課税される譲渡所得税（国税）や、土地を取得・維持管理するトラスト団体に課税される不動産取得税と固定資産税（地方税）について、非課税とする点を要望しています。これを受け、10 月 13 日には民主党環境部門会議にて、これらの改正について意見を述べました。